

厚生労働省の有識者会議がまとめたパワハラ行為の分類

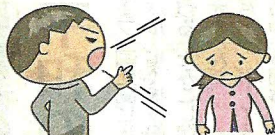
1 身体的な攻撃

暴行・傷害



2 精神的な攻撃

脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言



3 人間関係からの切り離し

隔離・仲間外し・無視

4 過大な要求

業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害



5 過小な要求

業務上の合理性がなく、能力や経験とかけ離れたレベルの低い仕事を命じることや仕事を与えないこと

6 私的なことに過度に立ち入ること

グラフィック・本井克典

暴言や過重な仕事の押し付けなどで働く人の心身を傷つけるパワーハラスメント。国は3月に初めてパワハラの定義を打ち出し、防止に向けた啓発に力を入れる方針だ。一方で「これもパワハラ？」と上司が指導の仕方に戸惑うケースもある。現場の声から考える。誰もが気持ちよく働くためには一。

(森田裕美)



＜上＞

暴言・叱責耐えきれず

傷つけられて一部下は

会社を辞めて2年以上たった今も、思い出す身震いする。ある日の呼び出し。上司は男性38歳、広島市に雑談を振ってきた。宝くじ当たったらしい。仕事辞めたら、仕事辞めるな。

厳しいノルマ

男性は当時、燃料関連の会社に勤め、市内の2店舗で店長を任されていた。本社の上司は成績を上げることに躍起で、男性に厳しいノルマを課した。達成できなかった毎日、謝罪させられ、胃が痛む

恐怖で気の休まらないうなされた。周囲ではうつになる人や辞める人も相次いだ。

非正規労働者も加入できる自治労全国一般広島地方労働組合でも、寄せられる労働相談の3分の1がパワハラ

なんておまへは、本気で仕事をしない証だ。怒号が部屋に響き渡った。理不尽がひたすつとつむき、謝った。嵐が過ぎ去るのを待つしかなかった。

要件を知らされないまま本社に呼びつけられ、幹部4人に「死ぬ気でやれ」と1時間以上ねちねちと叱責された。職務に關係ない要求もエスカレート。懇親会の後に「冬の海に飛び込め」と元談まじりに命令された。

えだが、3年が限界だった。今は求職活動しながら、貯金を切り崩しての生活。でもあのままだと体が壊れていく。辞めたことに悔いはない。

社外の機関も対処法を支援

つが会社の悪口を言っていたと密告するようになった。みんなが疑心暗鬼に。社内のパワハラ相談窓口を利用する人はいなくなった。「好きで選んだ仕事」。黙って必死に耐

余裕ない職場。転職も容易ではない時代。心身に不調があっても誰にも相談せず、限界まで我慢するケースは少なくない。正社員と非正規労働者が敵対したり、人員削減のためにわざと部下を辞職に追い込んだり。雇用形態の変化や経済情勢の悪化も影響する。指吸さんは職場全体に仲間を思いやる余裕がなくなっていた。

ラ関連。「でも表面化しているのは氷山の一角」と相談員の指吸信夫特別執行委員はみる。

余裕ない職場

転職も容易ではない時代。心身に不調があっても誰にも相談せず、限界まで我慢するケースは少なくない。

正社員と非正規労働者が敵対したり、人員削減のためにわざと部下を辞職に追い込んだり。雇用形態の変化や経済情勢の悪化も影響する。指吸さんは職場全体に仲間を思いやる余裕がなくなっていた。

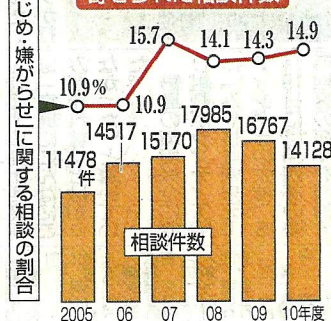
「いじめ・嫌がらせ」に関する相談の割合。労働相談の件数は、リーマン・ショックがあった08年度の1万7985件をピークに、09年度は1万4128件と減少傾向にある。

「いじめ」相談 年2000件超

しかし「いじめ・嫌がらせ」の割合は、07年度に相談全体の15%を超え、その後も依然として14%以上で推移。10年度は2174件(14.9%)で5年前のほぼ倍になった。

厚生労働省は予防・解決に向け、全国34都道府県に47人の専門相談員を配置。啓発ポスターやインターネットサイトの作成、実態調査の準備を急ぐ。

中国5県の労働局に寄せられた相談件数



具体的なイメージを促そうと、暴言や脅迫、過大な要求、過小な要求、個々の侵害など、典型的な行為を六つの類型で示した。中国5県の労働局に寄せられた解雇や労働条件の引き下げなど労働相談の件数は、リーマン・ショックがあった08年度の1万7985件をピークに、09年度は1万4128件と減少傾向にある。

パワハラにまつわる体験談や意見、ご感想をお寄せください。ファクス082(201)5802 8/メールkurashi@chugoku-np.co.jp

「いじめ・嫌がらせ」と分析する。相談機関だ。中国地方岡山、松江市で運営。上司が特定の人に対して態度を変え、33カ所の総合労働相談センターがある。職場で孤立したパワハラ被害者は、同日本産業カウンセラー協会中国支部も、心の相談室「カウンセリ」になるのは、社外のグループを企画、前に頼ってほしい。